

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団

内容
<p>【A プログラム／音楽室探検ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打楽器紹介／学校の音楽室にあるタンバリンや小太鼓、カスタネットやマリンバ(シロフォン)等をお借りして、打楽器奏者がオーケストラの中で使うさまざまな奏法で鳴らします。 ・ヴァイオリン等メロディを担当する楽器紹介ソロ演奏を交えながら楽器の紹介をします。 ・アンサンブル演奏／メロディや伴奏といった合奏の形態をレクチャーします。 ・手拍子体験／児童生徒さんに参加いただき、手拍子によるリズム遊びをします。 <p>【B プログラム／アンサンブルのミニレクチャーコンサート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば弦楽器奏者4名(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)による四重奏等、奏者による曲目解説や楽器紹介を行います。 ・児童生徒が指揮者となってアンサンブルを指揮する「指揮者体験コーナー」があります。 ・「この曲は何の曲?」といった曲名当てクイズコーナーがあります。

タイムスケジュール(標準)								
8	9	10	11	12	13	14	15	16
		学校 入り	練 習	休 憩	開 演	終 演		

派遣者数
A プログラム「音楽室発見」ワークショップ 合計 (4名) 指導者 (2名)、スタッフ (2名) B プログラム「アンサンブルレクチャー」 合計 (6名) 指導者 (4名)、スタッフ (2名)

学校における事前指導
指導は特に必要ありません。事前に学校の楽器の種類・数などを教えていただきます。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団

演目
<p>【小学校 プログラム】</p> <p>♪フチーク：行進曲《剣闘士の入場》</p> <p>♪レハール：ワルツ《金と銀》</p> <p>♪モーツァルト：ディヴェルティメント K. 136 より《第1楽章》</p> <p>♪ビゼー：《アルルの女》より「ファランドール」</p> <p>♪ヴェルディ：オペラ「椿姫」第1幕より《乾杯の歌》（ソプラノ入り）</p> <p>♪J. シュトラウス2世：喜歌劇《こうもり》より「侯爵様、あなたのようなお方は」（ソプラノ入り）</p> <p>♪ジーティンスキー：ウィーンわが夢の街（ソプラノ入り）</p> <p>♪ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より「ダッタン人の踊り」</p> <p>♪「ビリーヴ」「さんぽ」等（会場合唱）</p> <p>♪学校校歌（会場合唱）</p> <p>（アンコール）J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲 公演時間（75分）</p> <p>【中学校 プログラム】</p> <p>♪ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より「第1楽章」</p> <p>♪レハール：ワルツ《金と銀》</p> <p>♪ヴェルディ：オペラ「椿姫」第1幕より《乾杯の歌》（ソプラノ入り）</p> <p>♪J. シュトラウス2世：喜歌劇《こうもり》より「侯爵様、あなたのようなお方は」（ソプラノ入り）</p> <p>♪ジーティンスキー：ウィーンわが夢の街（ソプラノ入り）</p> <p>♪カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」</p> <p>【指揮者体験】*生徒3人</p> <p>♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番（最終部分）</p> <p>♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 *指揮者による通し演奏</p> <p>♪ボロディン：歌劇《イーゴリ公》より「ダッタン人の踊り」</p> <p>「校歌」もしくは「ビリーヴ」（会場合唱）</p> <p>（アンコール）ビゼー：《アルルの女》より「ファランドール」 公演時間（85分）</p>

派遣者数	
合計	(約 74 名)
出演者	(約 66 名)
スタッフ	(約 8 名)

タイムスケジュール (標準)									
8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	スタッフ仕込	オケ	練	休	開		終		
		入り	習	憩	演		演		

実施校への協力依頼人員	
公演当日の搬入・搬出に係るお手伝いは必要ございません。	

演目解説	
<p>♪フチーク：行進曲《剣闘士の入場》 チェコの作曲家ユリウス・フチークが 1897 年に作曲したブラスバンドのための行進曲で、皇帝ネロの時代のローマ帝国に興味を持ち剣闘士が競技場に入場する場면을イメージした音楽で、現在ではサーカスにおけるピエロのテーマとして世界中で親しまれている。</p>	
<p>♪レハール：ワルツ「金と銀」 フランツ・レハールはハンガリー出身の作曲家です。「金と銀」は独立した管弦楽用ワルツとして作曲されたもので、今日では代表的なウィenna・ワルツとしてよく演奏されています。「金と銀」は舞踏会のために作曲されました。題名の「金と銀」とはその舞踏会のテーマで、会場は銀色に照らされ、天井には金色の星がきらめき、壁一面に金銀の飾りが付けられ、参加者も金銀に彩られた装飾の服をまとっていたと伝えられています。</p>	
<p>♪ブラームス：ハンガリー舞曲第 5 番 ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ(ジプシー)音楽を元に編曲した楽曲で、元は 4 手ピアノ(連弾)用として作られましたが、のちに管弦楽版に再編曲されています。第 5 番が一番有名で頻繁に演奏されています。舞曲ならではのリズム変化が特徴です。</p>	
<p>♪ヴェルディ：歌劇「椿姫」第 1 幕 より《乾杯の歌》(ソプラノ入り) ヴェルディは 19 世紀を代表するイタリアのオペラ作曲家。オペラ「椿姫」はヴェルディの代表作とされるだけでなく、世界のオペラ劇場の中でも最も上演回数が多い作品の一つに数えられています。「乾杯の歌」は第 1 幕に歌われるアリアで、主人公の男女がパーティで初めて出会う場面の歌です。</p>	
<p>♪ジーツィンスキー：ウィーンわが夢の街 (ソプラノ入り) ジーツィンスキー (1879 - 1952) は、ウィーン作曲家・文筆家。この曲は「カーレンベルクの丘から下りてきたとき、夕日に満ちたウィーンの景色を眺めていて歌が浮かび」作曲されたとい、彼が生涯愛してやまなかったウィーンへの思いをノスタルジックな賛美を込めて歌い上げた歌曲。今でもウィーンを訪れる多くの観光客やウィーン市民に愛されている曲でもあります。</p>	

♪ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より《ダッタン人の踊り》

ロシアの作曲家ボロディンが作曲したオペラ『イーゴリ公』の第2幕の曲で、ボロディンの最も有名な曲のひとつであり、勇壮なリズムと美しい特徴ある旋律が魅力的で、クラシック音楽の中でも有数の人気曲です。しばしばオーケストラのコンサートなどで、独立して演奏されます。公演全体を締めくくるのに相応しい一曲です。

♪ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より《第1楽章》

冒頭のフレーズで有名な交響曲第5番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言ではありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたく音」だ。と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第1楽章の苦しみを乗り越えて第4楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第1楽章」を聴いていただきます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

本編中は要所にトークを入れ、音楽をリードしながら進めます。退屈せずまた十分にオーケストラの音を味わえる内容になっています。演奏者が子どもたちの座っている近くで演奏し、楽器が生きている姿を目の前で味わうことができる工夫を随所にちりばめています。

クラシック音楽を身近に感じて、「私も指揮者になりたい！オーケストラ奏者になりたい！」と思う一方、「今度はホールに出かけて行って演奏会を聴いてみたい！」と、次の段階のアクションに進んでもらえるよう制作しています。

全校で最も歌唱機会の多い作品（校歌、またはその他）を、フル・オーケストラの伴奏で歌っていただきます。演奏前にソプラノが、姿勢や呼吸の仕方など上手に歌唱するためのワンポイント・レクチャーを行い、大きな声で心をこめて歌うことの素晴らしさを伝えます。

体育館では、子どもと同じ目線にステージを設営し、見やすく、聴きやすいように配慮いたします

児童生徒とのふれあい

新型コロナウイルスの影響下につき、残念ですが児童生徒さんとは、極力接触を避ける予定です。